



## 今月のグレース Monthly Grace

今月のグレースは、“とびひ” についてです。

とびひ（伝染性膿痂疹）は、夏に多い皮膚の感染症です。原因は、黄色ブドウ球菌、あるいは溶血性連鎖球菌という細菌です。



**症 状**：原因菌により少し皮膚の症状が違います。

黄色ブドウ球菌が原因の場合、水疱(水ぶくれ)や、水疱が破れてびらん(皮膚がツルンと剥けている状態)になります。溶血性連鎖球菌が原因の場合、紅斑(赤い斑)や膿疱(水ぶくれの中が膿)を伴い痂皮(カサブタ)が付着します。

**治療方法**：抗菌剤である抗生剤を内服します。

**注意事項**：何よりも、感染症であるため拡大させないために、いじらないように注意することが大切です。患部はガーゼで覆います。ご家族が患部に軟膏を外用したときも軟膏塗布した手で他を触ると、うつるので、必ず手を洗いましょう。

症状が落ち着くまで入浴、プール、海はお休みです。

※ とびひの原因菌の勢いが強いと、菌の毒素により高熱とともに全身が赤くなることがあります(ブドウ球菌性熱傷用皮膚症候群)。これは、9月がピークと報告されているので、これからの季節も注意が必要です。